



41万画素 IR搭載ハイスペックスピードドームカメラ

PF-CH804

取扱説明書

INSTRUCTION



～安心と信頼で未来を守る～

株式会社 日本防犯システム

Security System

<http://www.js-sys.com>

目次

はじめに	安全上のご注意	2
	安全のため必ずお守りください	2
	正しくご使用いただくために必ずお守りください	5
	主な特徴	6
	付属品	6
	設置前の本体の設定	7
	本体の設置	10
接続方法	14	
カメラの設定と機能	カメラの機能設定メニュー	15
	プリセット	16
	動体検知設定とカメラの設定	18
	モーションコントロール パトロール機能の設定	21
	Auto Scan(オートスキャン)	21
	Seq Scan(シーケンススキャン)	22
	Random Scan(ランダムスキャン)	22
	Pattern Scan(パターンスキャン)	23
	タイムスケジュール設定	24
	プライバシーゾーン(マスク機能)設定	26
	アラーム機能	28
カメラ本体の基本設定	30	
Setup(基本設定)	30	
Pan/Tilt(パン/チルト設定)	33	
Display(画面表示設定)	35	
システム設定・その他	システム設定	37
	パスワードの管理と設定	37
	その他	39
	製品図	39
	仕様書	39
	故障かなと思ったら	40
アフターサービスについて	41	

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■ 記号の表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをする、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをする、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをする、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 記号の例



△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。



分解禁止

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜く



■ 電源コードを傷つけない

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。
- 電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店に交換をご依頼ください。



禁止



■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

- ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
- 湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
- 定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よれを取り除いてください。



禁止

■ 電源コード接続時の注意

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源コードを束ねて使用しないで下さい。発熱などにより、火災の原因となります。
- コンセントつき延長コードをご使用の場合は、接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力をこえないよう注意してください。火災の原因となります。



禁止

■ 電源コード接続時の注意

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。



分解禁止

⚠️ 注意

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

■ めれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

■ コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶんに注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



■ 搬送・持ち運びについて

●通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。

●搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。



電源プラグを
コンセントから抜く

■ お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜く

■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。



使用する AC アダプターについて

⚠️ 危険

■ 分解したり、改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 直流電源装置として使用しないでください。



分解禁止

■ 電源電圧はお守りください

AC アダプターに記載されている電圧以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



禁止

■ めらさない

- 水につけたり、めらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
- 万一内部に水などがいった場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



水場での
使用禁止

⚠️ 警告

■ 専用の AC アダプター以外は使用しない

専用の AC アダプターをご使用ください。他の AC アダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。



禁止

■ 他の機器に接続しない

感電の原因となることがあります。



禁止

■ 本機を幼児やお子様手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない

誤って AC アダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。



禁止

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



禁止

■ めれた手で AC アダプターをさわらない

感電の原因となります。



ぬれ手禁止

使用する AC アダプターについて

警告

■ 煙が出ている、変な音に気がするときは、すぐに AC アダプターをコンセントから抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 異常状態になった場合は、すぐに AC アダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。



■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、AC アダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



■ AC アダプターとコンセントの注意

- コンセントにゆるみがある場合は接続しない
- AC アダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する
- AC アダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない
不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因となります。
- AC アダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない
差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因となります。
- AC アダプターをコンセントに差し込んだまま、本機の DC 入力端子から DC プラグを抜いた状態にしない
ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因となります。
- AC アダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない
ほこりなどにより、ショートや発熱が起り火災の原因となります。
特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。
ほこりの清掃
AC アダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
- コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと
定格電力を超えると火災の原因となります。



注意

■ コード類は正しく接続する

AC アダプターのコードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して配線してください。足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



■ コードを傷つけない

AC アダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステーブルなどで固定しないでください。



■ 不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



■ 使用場所の注意

発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。



正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ 本機（風防）のお手入れ

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。そして、仕上げは乾いた布でふいてください。

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。



■ 落下防止ワイヤーを設置すること

設置の際は、落下防止用のワイヤーを設置してください。

■ 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること

カメラ本体ならびにコントローラーを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

主な特徴

Pan(横回転)360° エンドレスでレンズが回転します。複数台で撮影していた場所も1台でカバーできます。ズーム機能は光学12倍/デジタル16倍、オートフォーカス採用でくっきり鮮明な画像を再現します。

暗闇にも赤外線LEDモードに自動で切り替わりますので、夜間も安心です。

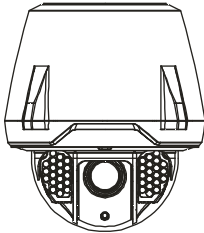
カメラ本体に、時計回り、反時計回りのオートスキャンがインストールされているので、複雑な設定なしでパトロール監視が可能です。また、通常のパトロール機能の設定もシンプルで簡単に実行できます。

スケジュール機能、アラーム機能を使えば、無駄な撮影時間を削減して、映像の確認の時間も削減できます。

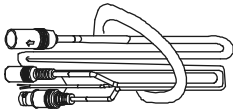
付属品

次の部品が入っているかをご確認ください。

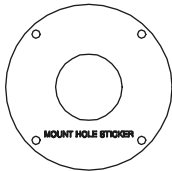
①カメラ本体



②接続ケーブル



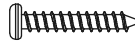
③取付位置決めステッカー



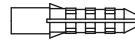
④専用ドライバー



⑤取付ねじ



⑥取付アンカー



⑦15EDGR3.81 5P端子



⑧15EDGR3.81 7P端子



⑨取扱説明書(本書)



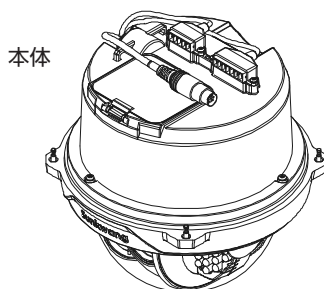
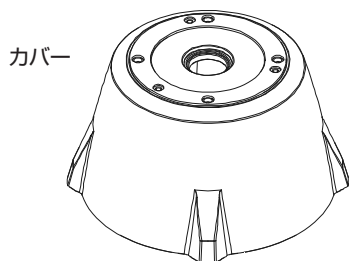
※ACアダプターは別売りです。

設置前の本体の設定

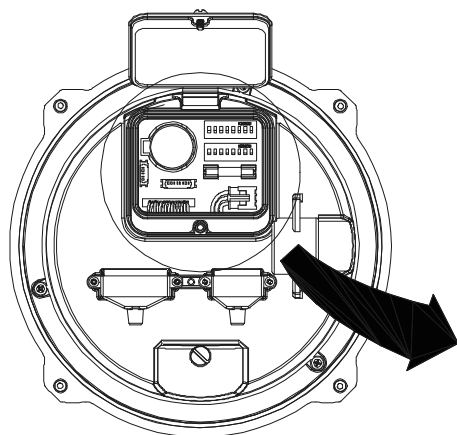
カメラ本体を設置する前に本体の設定を行ってください。

本体上部を固定しているネジを専用ドライバーでゆるめて、カメラ本体からカバーを外します。

※ネジを外す必要はありません。



カメラ本体裏面にあるカバーをマイナスドライバーでゆるめると本体の設定スイッチが確認できますので設置前の設定を行います。※電源は入れてない状態で設定してください



CR2032
3V
+

1 TERMINATION setting

Termination	SW1	
On	ON	
Off	OFF	

2 PROTOCOL setting

Protocol	SW2	SW3
Auto	OFF	OFF
SK- P	ON	OFF
Palco- D	OFF	ON

3 BAUDRATE setting

Baudrate	SW4	SW5
2400bps	OFF	OFF
4800bps	ON	OFF
9600bps	OFF	ON
19200bps	ON	ON

6 CAMERA ADRES

1	2	3	4	5	6	7	8
ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

FUNCTIONS

1	2	3	4	5	6	7	8
ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

7 250V 3A

4 NTSC/PAL setting

NTSC/PAL	SW7
NTSC	ON
PAL	OFF

5 FACTORY DEFAULT

Reset	SW8
ON	TOGGLE SWITCH
OFF	

① Termination switch (ターミネーション設定スイッチ) : RS485接続設定に使用

- ・ ON: カメラとコントローラーが1対1の場合や複数カメラを接続した際に、カメラアドレスが末端の場合
- ・ OFF: 複数のカメラをコントローラーに接続した際に、カメラアドレスが末端ではない場合



設置前の本体の設定

② Protocol setting switch (プロトコル設定スイッチ)

- ・プロトコルはマニュアル設定とオート設定から選択できます。※通常はオートで設定してください
- ・オートを設定すればカメラがプロトコルを検出して自動で設定します。



オート設定



SK-P設定



Pelco-D

③ Baud rate setting switch (ボーレート設定スイッチ)

- ・ボーレート(通信速度)の設定を選択します。※通常は2400bpsを設定します



2400bps



4800bps



9600bps



19200bps

④ NTSC/PAL setting switch (NTSC/PAL設定スイッチ)

- ・ON: NTSC・・・日本で使用する場合はこちらを選択します。
- ・OFF: PAL・・・海外で使用する場合は地域によってはこちらを選択してください。



ON:NTSC・・・日本ではこちらの設定になります

⑤ Factory default switch (工場出荷時設定スイッチ)

- ・スイッチを“ON”にするとカメラが工場出荷時にリセットされます。※プリセットのデータは削除されます
- ・リセット終了後にスイッチを“OFF”に戻してください。



リセット終了後にスイッチを“OFF”にしてください

設置前の本体の設定

⑥ Camera address switch(カメラアドレス設定スイッチ)

- ・カメラを複数台設置した際にカメラにアドレス番号を設定することで、一台づつ設定ができます。
- ・最大255台まで設定が可能です。

Camera ID	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7	SW8
1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
4	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
5	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
6	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
7	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
8	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
9	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
10	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
11	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
12	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
13	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
14	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
15	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
16	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
17	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
18	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
19	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
20	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
21	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
22	OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
23	ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
24	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
25	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
26	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
27	ON	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
28	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF
29	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF
30	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF
31	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF

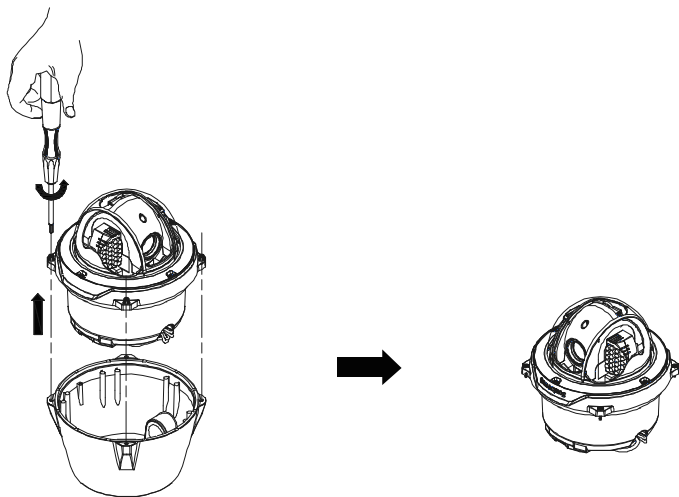
32台目以降の設定は省略しています。

⑦安全ヒューズ

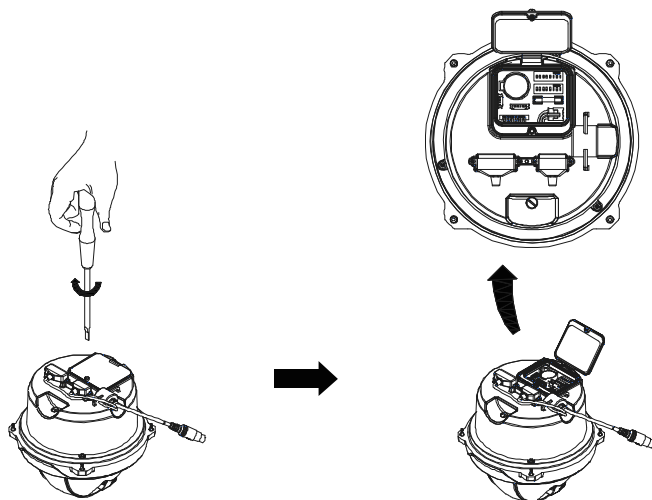
- ・カメラに過電流や過電圧が流れた時に切れます。

本体の設置

①付属のドライバーを使用して本体からカバーを取り外します。※ネジはゆるめるだけで外す必要はありません

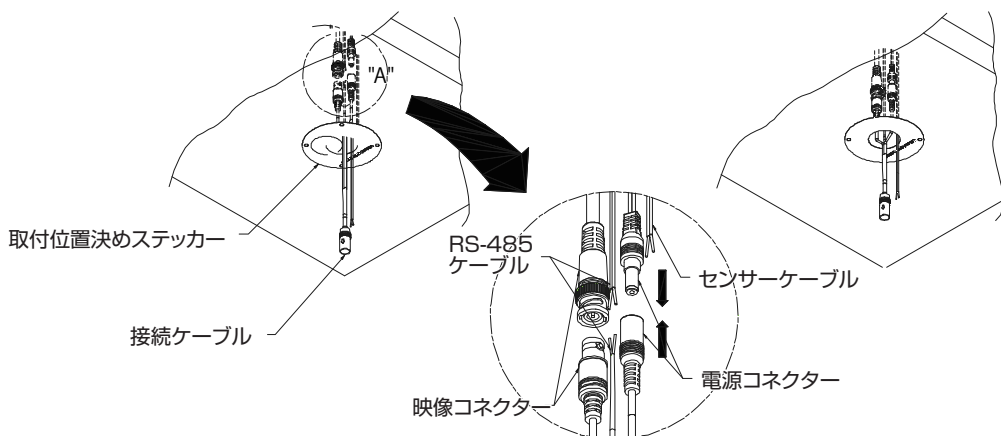


②本体の底部にあるフタをマイナスドライバーを使用して開けます。本体設置前の設定が済みましたらフタを閉めます。

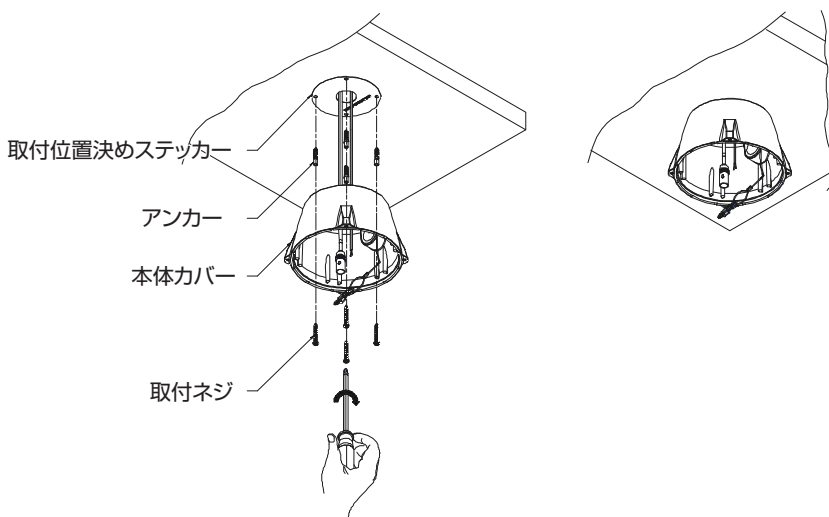


本体の設置

③カメラケーブルを通す穴を開けた後、同梱している“取付位置決めステッカー”を貼り付けてケーブルを通します。

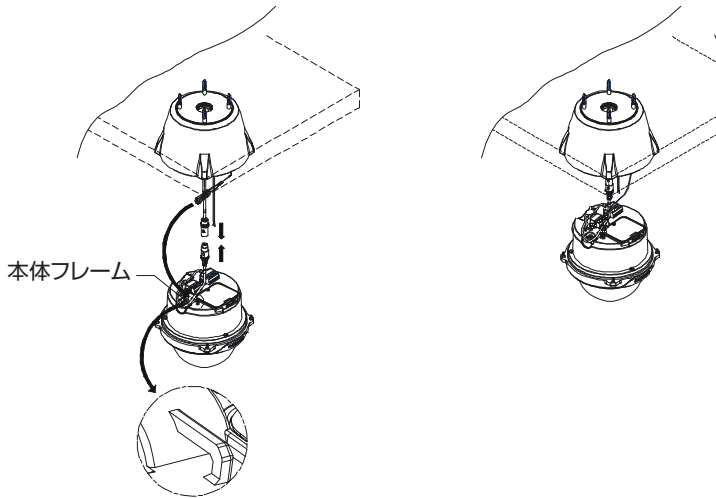


④下穴を開けて付属のアンカーを差し込んだら、付属の取付ネジで本体カバーを取り付けます。

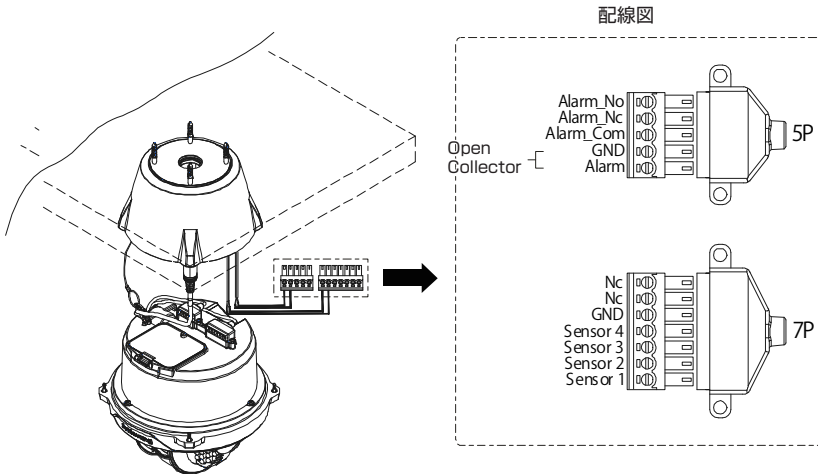


本体の設置

- ⑤落下防止ワイヤーをカメラ本体にある穴に取り付けます。
※ワイヤーを取り付ける際に本体が落下しないように気を付けてください。

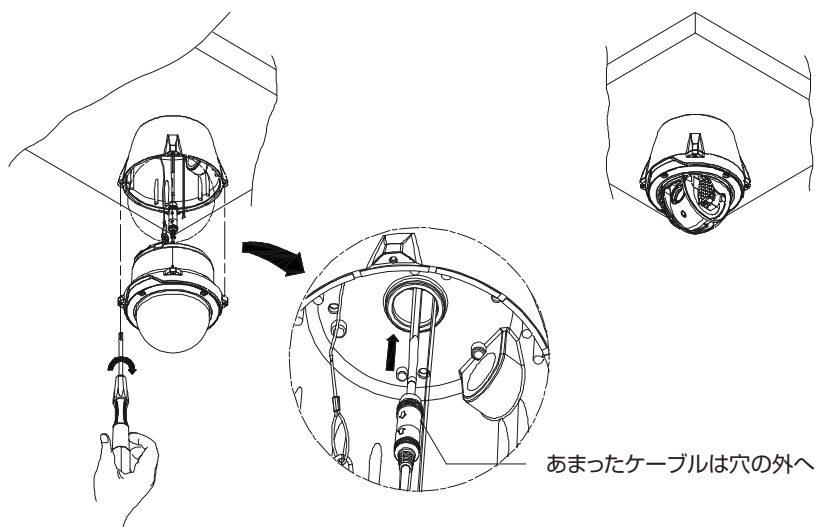


- ⑥アラームケーブルを使用する場合は付属のコネクタにケーブルを挟み込んでカメラ本体にあるコネクタに差し込みます。※配線は下記参照



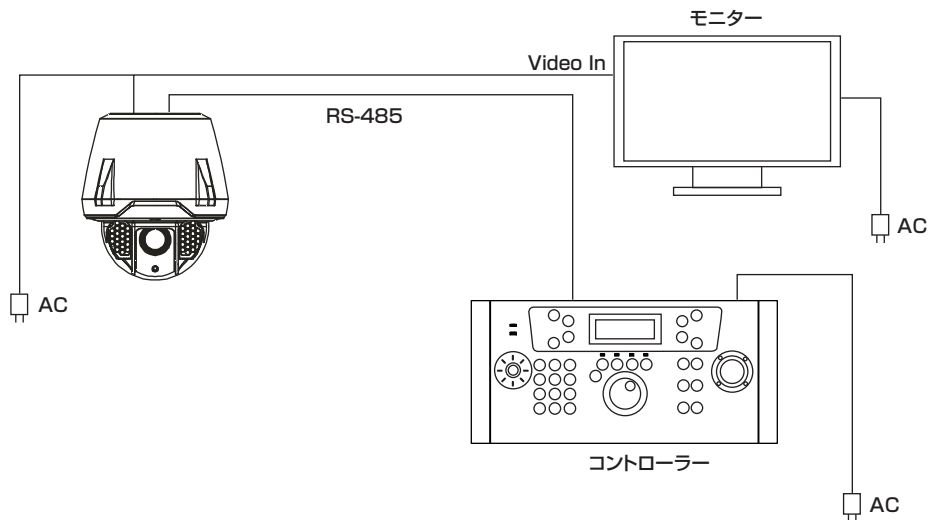
本体の設置

⑦ケーブルの取り回しに気を付けてカバーを取り付けます。ケーブルが本体カバーの中であまると、本体がうまくカバーとはまらない場合がありますので、ケーブルは穴の外にまとめてください。

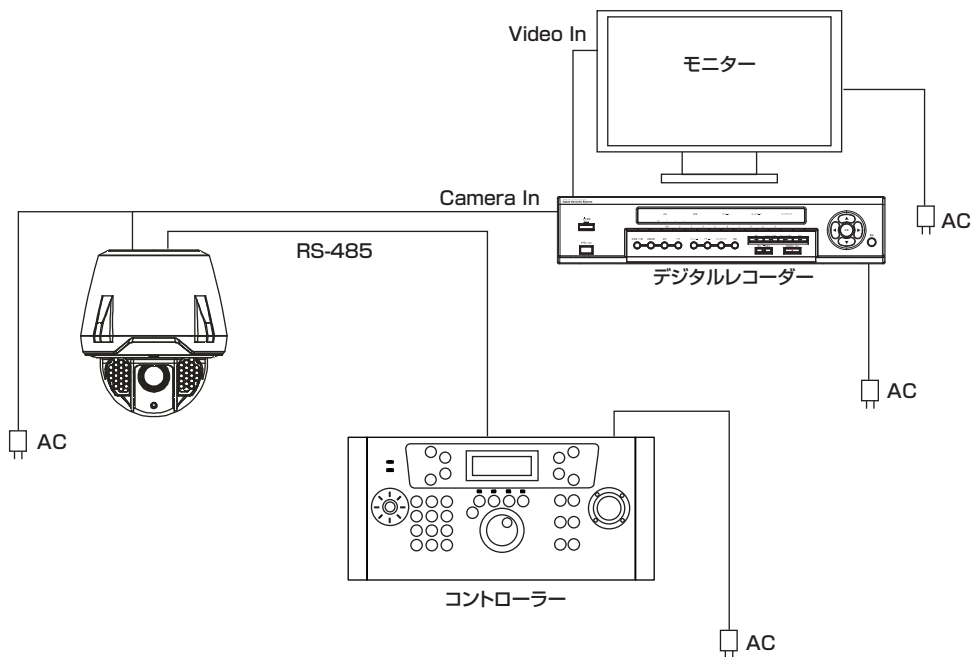


本体の設置

■ 接続方法 (DVR 無)



■ 接続方法 (DVR 有)



■カメラの設定メニュー

コントローラーの“MENU” ボタンを押して OSDメニューを表示させてカメラの設定を行います。

※コントローラーによっては表示方法が変わる場合がございます。

・Preset	プリセットと動体検知機能の詳細設定
・Motion Control	パトロール機能の設定になります。“Preset” で設定したカメラ設定をシーケンス機能で実行させたり、ポジションを設定してパトロールさせたりできます(Panのみ)
・Time Set	本体に日付と時間を設定します。
・Privacy Zone	撮影させたくないところにマスクをかけられます。
・Alarm In	アラーム機能を取り付けた時のセンサーの設定です。
・Alarm Out	アラーム装置の動作設定です。
・Setup	カメラ本体の設定です。
・System	カメラ本体の初期化、パスワード設定、システムインフォメーションの確認ができます。

PF-CH804対応のコントローラーでのボタンの対応

PF-CH804に対応したコントローラーを使用した場合、下記のボタンで OSDメニューが操作することができます。

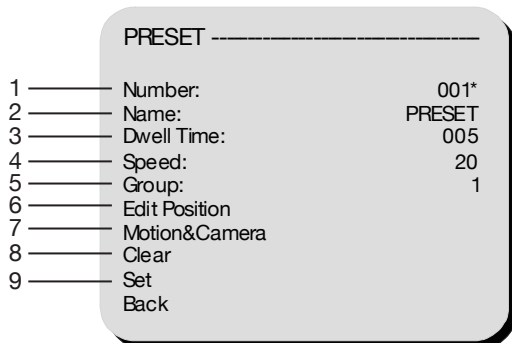
- ・MENUボタン: メニューボタンを押すと OSDメニューが表示されます。
また、各設定の“決定”にも使用します。
- ・IRIS OPEN: OSDメニューの決定ボタンになります。※決定は“MENU” ボタンも使用します
- ・IRIS CLOSE: OSDメニューの中の“EXIT” に移動します。
- ・JOY STICK: 右・・・ OSDメニュー内での決定になります。
左・・・ OSDメニュー内で“EXIT” に移動します。
上・・・ カーソルが上に移動します。選択した項目の選択にも使用します。
下・・・ カーソルが下に移動します。選択した項目の選択にも使用します。

※本書では各項目の“決定” “選択” に“MENU” ボタンを使用しています。

コントローラーの種類、DVRによっては“決定” “選択” には他のボタンが割り当てられている場合がございますので、ご確認ください。

■Preset

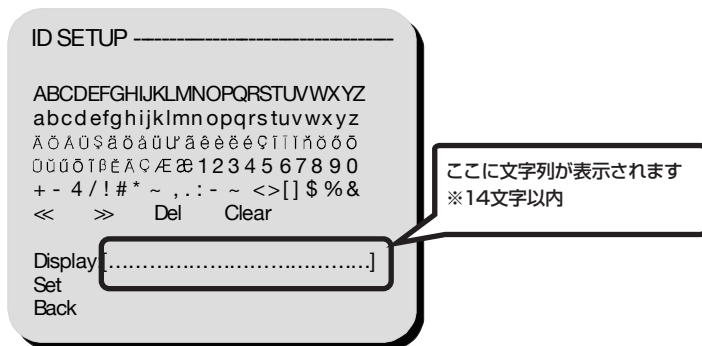
撮影したい位置や、レンズのズーム、パトロール撮影時の停止位置での停止時間の設定保存を行います。コントローラーのジョイスティックで撮影位置、撮影サイズ(ズーム)が決まったら“MENU”ボタンを押してOSDメニューを表示させて、“Preset”を選択してください。



1.Number: 任意のプリセット番号が付けられます。設定したプリセット番号をコントローラーで呼び出して実行します。「*」がついた番号はすでに使っている番号です。

2.Name: プリセット情報に名前が付けられます(日本語未対応 14文字以内)。カーソルをNameに合わせてコントローラーの“決定”で“ID SETUP”を表示させます。

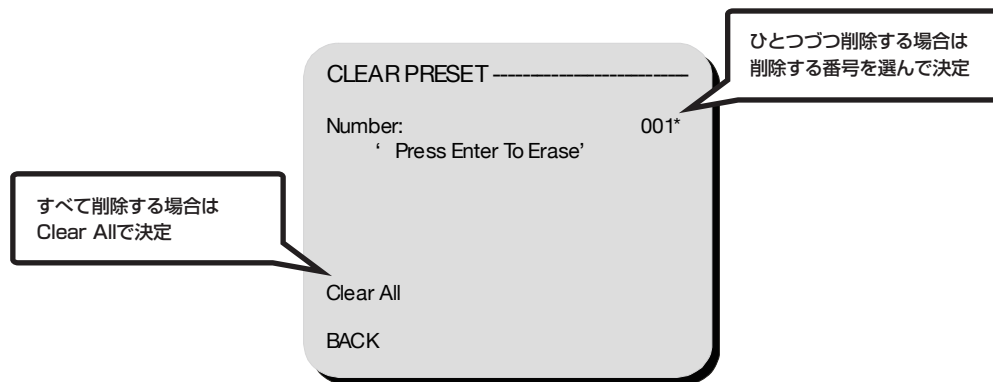
※“決定”の方法はコントローラーの“MENU”ボタンもしくは IRISの“OPEN”ボタンを押してください。



コントローラーの十字キーで任意の文字列を選択して、“決定”を押して文字が入力されます。入力が終わったら“Set”で保存されます。

3.Dwell Time: 設定した位置での停止する時間が設定できます。1～250秒の間で設定できます。初期設定値は5秒になっています。

- 4.Speed: 動作のスピードになります。1～20の数値で設定します。数値が低いほど遅くなります。
- 5.Group: グループ番号を指定します。指定した番号は“SEQ SCAN” 機能で使います。(P20参照)
- 6.Edit Position: プリセットで設定したカメラの撮影位置を変更できます。
もしくは、メニューが表示されているときに位置を動かす時に選択します。
変更の決定はコントローラーの“IRIS” 機能の“OPEN” を押して決定になります。
- 7.Motion&Camera: 動体検知機能を設定します。(P17参照)
- 8.Clear: カメラに設定したプリセットの削除ができます。削除したいプリセット番号を選択して“決定” を押してください。すべてのプリセットを削除する場合は“Clear All” を選択します。



- 9.Set: 撮影したい位置、スピード、撮影サイズ(ズーム機能)が決まったらプリセット番号を確認して、決定します。“Yes” “No” の確認画面が表示されますので、どちらかを選択してください。保存されたプリセット番号には「*」マークがつきます。プリセットは最大32プリセットまで設定できます。

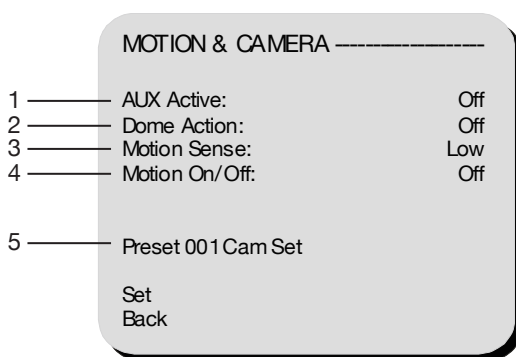
◆設定したプリセットを呼び出す

- 1.コントローラーの“ENTER”もしくは“PTZ” ボタンを押します。
- 2.液晶画面の“PRESET”を選択します。
- 3.“NUM” ボタンを押して呼び出したいプリセット番号を入力します。
- 4.“ENTER” ボタンまたは“MOVE” ボタンを押して実行します。

※コントローラーによっては方法が異なる場合がございます。

■動体検知設定とカメラの設定

この機能はPRESETのサブメニューにあります。8カ所の動体検知ゾーンが設定できます。



1.AUX Active (外部接続機器)

- ・OFF・・・外部接続する機器がないときに選択します。
- ・AUX1・・・外部接続する機器が繋がっているときに選択します。(アラームなど)
- ・AUX2・・・外部接続する機器が“Open Collector” 接続になっているときに選択します。

2.Dome Action (カメラの動きの設定)

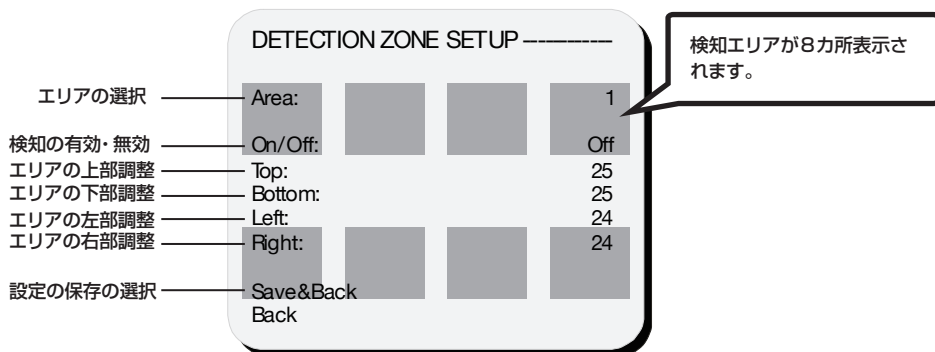
- ・OFF・・・カメラの動きがない場合に選択します。
- ・PTRN1～PTRN4・・・PTRN1～PTRN4の動作設定の場合に選択します。
- ・CW・・・カメラが時計回りにパトロール監視している場合に選択します。
- ・CCW・・・カメラが反時計回りにパトロール監視している場合に選択します。
- ・CUSTOM・・・パトロール監視がカスタム設定されている場合に選択します。

3.Motion Sense (感度の設定)

- ・LOWを選ぶと感度が下がり、Highを選択すると感度が上がります。

4. Motion On/Off (動体検知機能の設定)

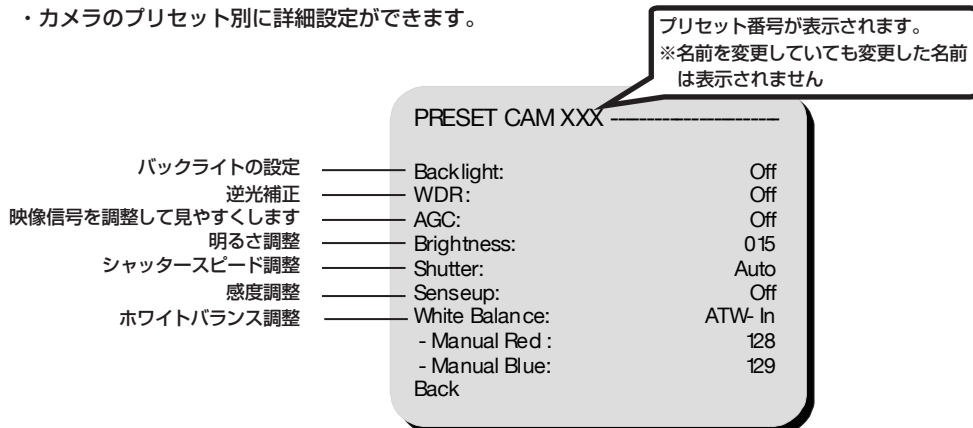
- ・ Onを選択すると動体検知機能が有効になり、Offを選択すると無効になります。
Onを選択した状態で、“MENU” ボタンを押すと検知エリアの設定画面が表示されます。



設定するエリアを選択したら、コントローラーのジョイスティック、または十字キーでエリアの大きさを調整してください。検知を OFF にするとマスクが消えます。

5. Preset XXX Cam Set

- ・ カメラのプリセット別に詳細設定ができます。



注意)

プリセット別の詳細設定時に、“Sequense/Randam Scan” でプリセットを実行すると、各プリセットに設定された詳細設定が反映されます。

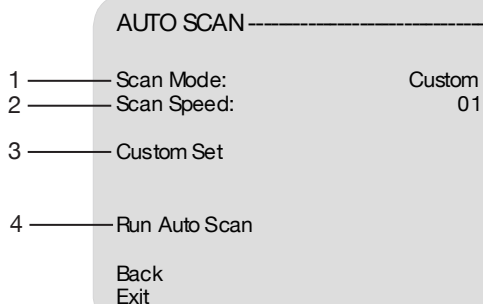
“Camera Setup” での詳細設定は反映されません。(P28参照)

■Motion Control パトロール機能の設定

◆Auto Scan

この機能はカメラの“Pan(横回転)”のパトロール機能になります。“Tilt(縦回転)”と“Zoom”につまみは固定となります。パトロール最中にカメラを動かすことは可能ですが、数秒後に再度パトロールを再開します。

※パトロールが再開したら“Tilt”と“Zoom”も設定時に戻ります。



1.Scan Mode

- ・CW：時計回りに回転します。
- ・CCW：反時計回りに回転します。
- ・Custom：任意に設定した2点間をパトロールします。

2.Scan Speed

パトロールのスピードの設定になります。1～20の範囲で設定します（20が最速）
初期設定値は“5”になっています。

3.Custom Set

“Scan Mode”が“Custom”のときに設定します。

- ① “Custom Set”にカーソルを合わせてIRISの“OPEN”ボタンを押すか、ジョイスティックを右に傾けて選択します。
- ② 画面に「Move Pan To Set L. Position Press Iris Open or Menu」が表示されますのでカメラを任意の位置にあわせてIRISの“OPEN”ボタンか“MENU”ボタンを押してください。
- ③ 次の画面に「Move Pan To Set R. Position Press Iris Open or Menu」が表示されますのでカメラを次の任意の位置にあわせてIRISの“OPEN”ボタンか“MENU”ボタンを押してください。
- ④ 画面が戻りますのでカーソルを“Run Auto Scan”にあわせて“MENU”ボタンで決定実行します。

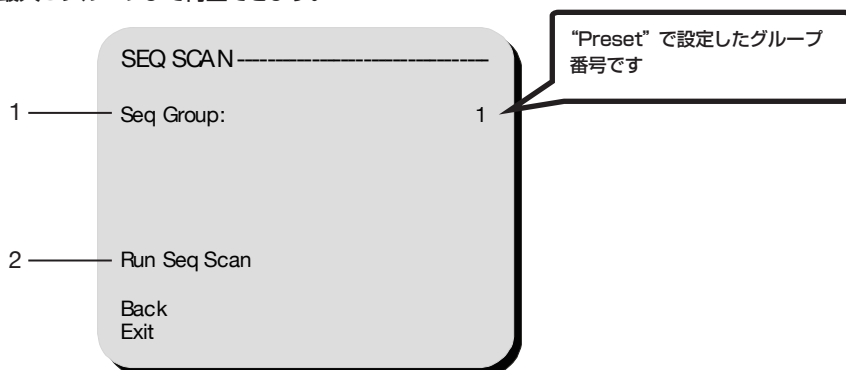
4.Run Auto Scan

パトロール機能を実行させます。1で“CW”“CCW”を選んで“Run Auto Scan”にカーソルをあわせて“MENU”ボタンを押すとパトロールが開始されます。
“Custom Set”の実行もこのメニューで実行されます。

※コントローラーのIRISの“OPEN”とジョイスティックを右に傾けても実行されますが、実行までに数秒かかる場合があります。また、2点間の位置を変更したり、スピードを変更した場合にカメラが動かない場合があります。その時は、“MENU”ボタンで実行してください。

◆Seq Scan

設定したプリセットを呼び出してパトロールさせることができます。“Pan” の情報だけでなく“Tilt” と “Zoom” の情報も実行できます。Presetで設定された情報が反映されるので停止時間やスピードも実行されます。最大8グループまで再生できます。

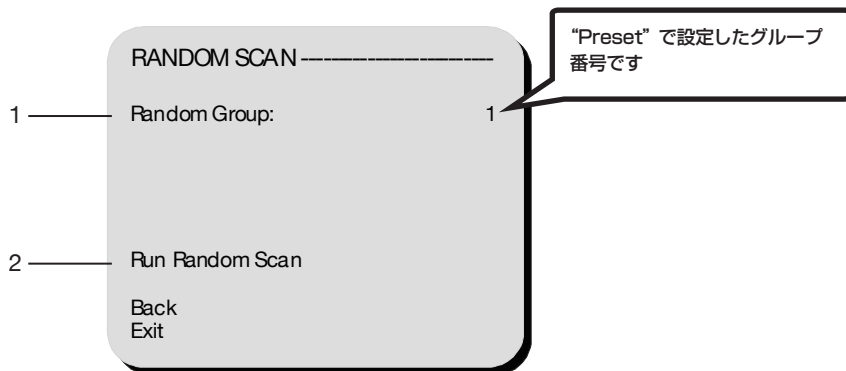


1.Seq Group : Presetで設定したグループ番号になります。同じグループのPresetを順番に再生します。(P16参照)

2.Run Seq Scan : カーソルを合わせて “MENU” ボタンで決定実行します。

◆Random Scan

同じグループで設定したプリセットを呼び出して不規則に再生します。2つ以上のプリセットが必要になります。最大8グループまで再生できます。

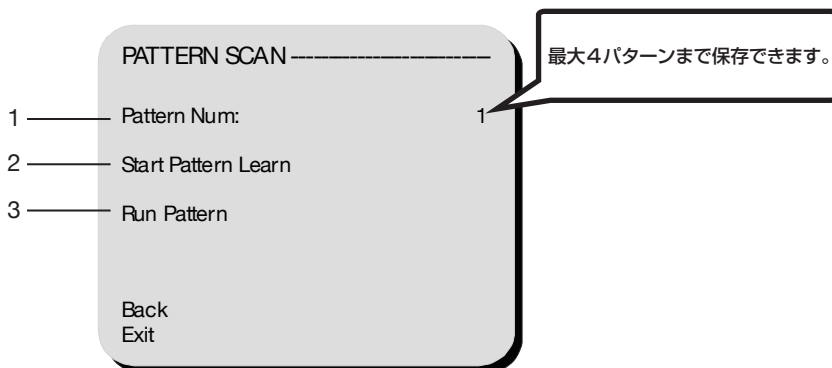


1.Random Group : Presetで設定したグループ番号になります。(P16参照)
同じグループのPresetを不規則順に再生します。

2.Run Random Group : カーソルを合わせて “MENU” ボタンで決定実行します。

◆Pattern Scan

ジョイスティックや十字キーで動かした動作がそのまま記憶再生されます。動かしているときのスピードと停止している時間も一緒に記憶再生されます。最大4パターンまで保存できます。



1. Pattern Num : 使用するパターン番号を選択します。(最大4パターン)

2. Start Pattern Learn

カーソルを合わせて“MENU”を押すと記録が始まります。ジョイスティックや十字キーを使って任意の位置に動かします。拡大が必要な場合は“Zoom”も一緒に動かしてください。

※動かしている最中の時間も記録されていきます。

記録を止めたいところで、“MENU”ボタンを押して決定します。

3. Run Pattern : カーソルを合わせて“MENU”を押すと再生が始まります。

※パターンの位置情報は変更できません。変更する場合は再度記録してください。

◆Time Schedule

指定した時間に設定したシーケンスを実行します。最大8つまで設定可能です。

●“Time Schedule” にカーソルを合わせて“MENU” ボタンを押すと一覧が表示されます。

No	Ena	Act	Start	End
1.	On	PTRN1	13:30 ~	14:55
2.	Off	SEQ1	00:00 ~	00:00
3.	Off	CCW	00:00 ~	00:00
4.	Off	CW	00:00 ~	00:00
5.	Off	SEQ2	00:00 ~	00:00
6.	Off	SEQ3	00:00 ~	00:00
7.	Off	PTRN2	00:00 ~	00:00
8.	Off	PTRN3	00:00 ~	00:00

Press Menu To Exit

●“MENU” ボタンを押すと設定画面が表示されます。

	TIME SCHEDULE	
1	Number:	1
2	Enable:	Off
3	Master Enable:	Current
4	Start Time:	00:00
5	End Time:	00:00
6	Time Act:	SEQ1
7	Set	
	Back	
	Exit	

1.Number：設定する時間帯の番号になります。最大8つまで設定できます。

2.Enable：タイムスケジュール機能の使用・不使用の選択です“OFF” で不使用になります。

3.Master Enable：8つあるタイムスケジュールの設定方法

- ・Current：タイムスケジュールを個別に設定編集するときに選択します。
- ・All off：すべてのタイムスケジュールを“不使用”にします。
- ・All on：すべてのタイムスケジュールを“使用”にします

4.Start Time：実行するシーケンスの開始時刻の設定です。

5.End Time：実行するシーケンスの終了時刻の設定です。

6.Time Act：実行するシーケンスを選択します。

- ・OFF：何も実行しません
- ・PTRN1～4：“Pattern Scan” で設定されているパターンです。
- ・SEQ1～8：“Seq Scan” で設定されているシーケンスです。
- ・CW：時計回りに回ります。
- ・CCW：反時計回りに回ります。
- ・Custom：“Auto Scan” で設定した2点間のパトロールです。

7.Set：設定を保存します。

●“Time Schedule” の設定方法

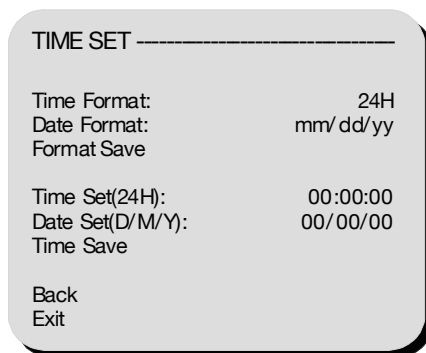
1. “Number” にカーソルを合わせて設定する番号を1～8の中から選択します。
2. “Enable” を “On” にします。
3. “Master Enable” を “Current” にします。
4. “Start Time” を選択して開始時刻を入力します。
5. “End Time” を選択して終了時刻を選択します。
6. “Time Act” を選択して、実行させたいシーケンスを選択します。
7. “Set” にカーソルを移動させて “MENU” ボタンで決定してください。
8. タイムテーブル一覧が表示されますので、設定が確認できます。

※時間の変更、シーケンスの変更は同じ手順で変更できます。

■Time Set

本体の時刻設定を行います。

※もしエラーが出た場合は本体底面にあるフタを開けてボタン電池(CR2032 : 3V)を交換してください。

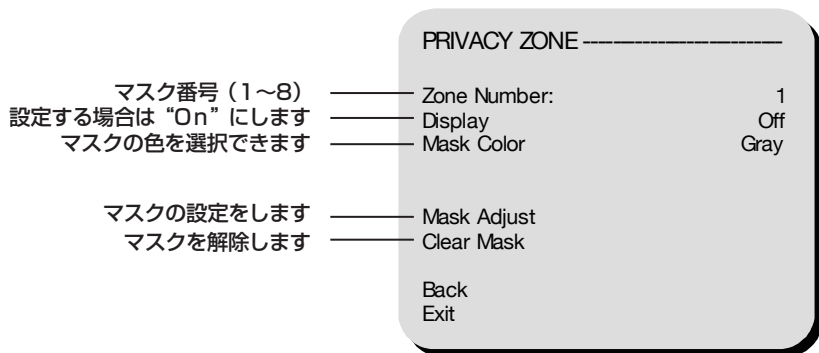


●日時の設定

1. “Time Format” で12時間表記と24時間表記が選択できます。
※ “Time Schedule” の設定は24時間表記になります。
2. “Date Format” にカーソルを合わせて日付表示の設定をします。
3. 1と2の設定を確認して、“Format Save” にカーソルを合わせて “MENU” ボタンを押します。
再度 “Time Set” を選択して時刻と日付を設定したら “Time Save” にカーソルを合わせて “MENU” ボタンで決定します。※時刻は24時間表記で入力してください。

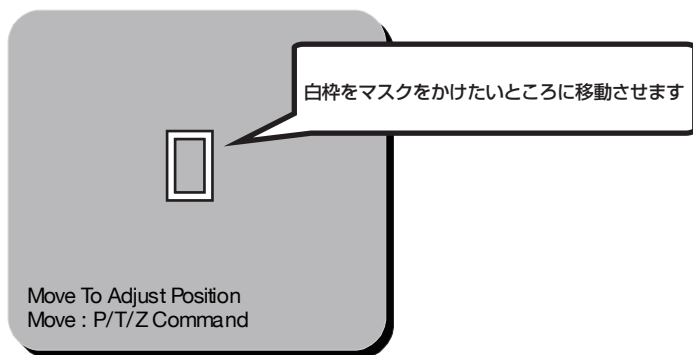
■Privacy Zone

画面に映っている映像で、見せたくない箇所にマスク機能で非表示にできます。マスクを設定できるのは8カ所になります。



●マスクの設定

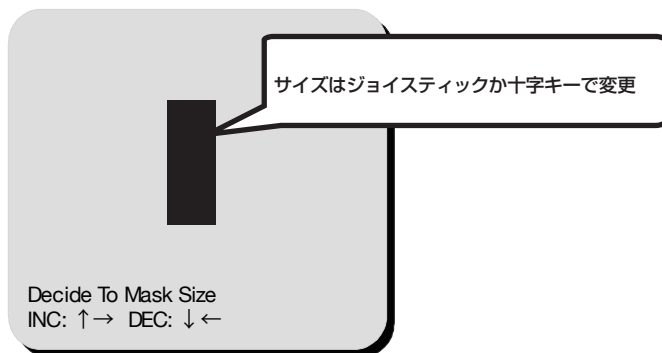
- 1.使用するマスク番号を選択します (1~8)
2. "Display" にカーソルを合わせて "On" にします。
3. "Mask Color" にカーソルを合わせてマスクの色を選択します。
4. "Mask Adjust" にカーソルを合わせて "MENU" ボタンで決定をします。
画面に白枠のボックスが表示されますので、マスクをかけたいところにジョイスティックや十字キーで移動させます。



5.3で設定した色のマスクが表示されますので、任意のサイズに調整します。

ジョイスティックか十字キーで拡大縮小できます。

※マスクのサイズを調整しているときはマスクは動かせません、もしマスクの位置を変更したい場合は“MENU” ボタンを押して位置調整モードに戻してください。



●マスクの削除

削除したいマスク番号を選択して“Clear Mask”にカーソルを合わせて“MENU”で決定してください。

●マスクの編集

編集したいマスク番号を選択して再設定をしてください。

※色の編集はできますが、マスクの位置と大きさは再設定になります。

■Alarm In

カメラ本体にアラーム機器（別売り）を取り付けることによって、動体検知機能と同期してアラーム機器を作動させることができます。また、外部センサー（別売り）の接続も可能です。

ALARM IN-----	
1	Sensor Num: 1
2	Priority: 1
3	Input Contact: Off
4	Activate
	├ AUX: Off
	├ Preset: Off
	└ Dome Act: Off
	Set
	Back
	Exit

1.Sensor Num：接続するアラーム番号を1～8から選択できます。接続端子を確認してください。

2.Priority：優先順位の設定になります。数字が小さいほど優先順位は高くなります。

優先順位が同じ場合は最後に反応したセンサーが作動します。また、優先順位が異なるセンサーが同時に反応した場合は優先順位の低いセンサーは無視されます。

3.Input Contact：外部接続されたセンサーに合わせて選択してください。

- ・OFF：センサーを付けていない時に選択します。
- ・N.O：Normally Openセンサー
- ・N.C：Normally Closeセンサー

※故障の原因になりますのでセンサーが接続されていないときは“Off”にしてください。

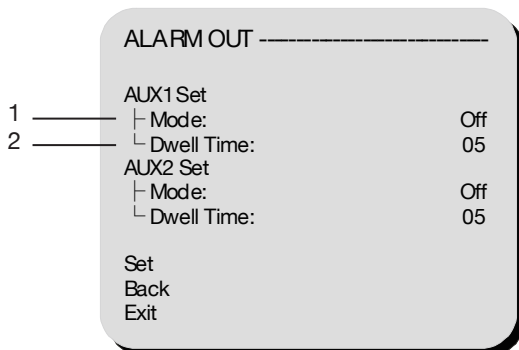
4.Activate：作動方法を選択します。

- ・AUX（外部接続センサー）：
OFF—不使用 AUX1—“リレー” AUX2—“Open collector”
- ・Preset：動体検知設定したプリセット番号を選択します。
- ・カメラの動作を選択します。

■Alarm Out

外部接続センサー（別売り）の設定です。

“AUX1 Set” が「リレー接続」、 “AUX2 Set” が「Open collector接続」の設定になります。



1.Mode（動作モード）

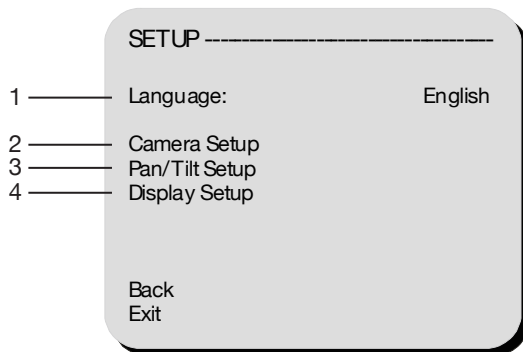
- ・ Off：何もしません
- ・ P_Act：センサーが検知し続ける場合、一定時間でセンサーの反応を停止させます。
- ・ M_Act：センサーが検知している間、アラーム機器は作動します。

2.Dwell Time（作動時間設定）

1～60秒の間で設定できます。

■Setup

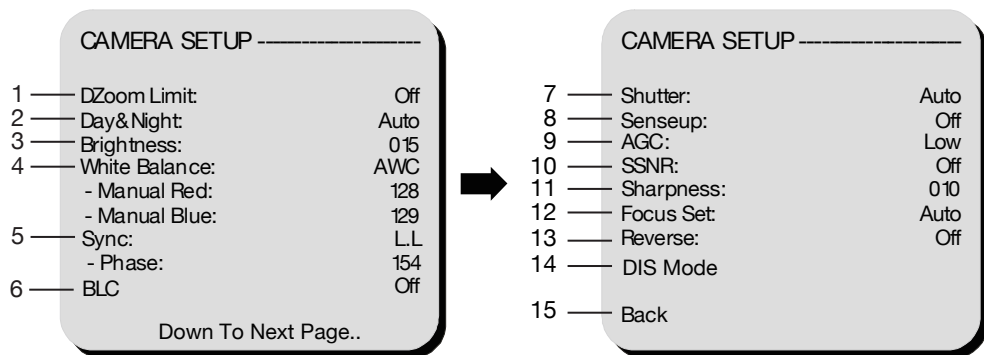
ご使用する環境に合わせて、カメラを設定できます。



- 1.Language : 言語の設定。＊日本語には対応していません。
- 2.Camera Setup : 環境に合わせた詳細設定を行います。(P29参照)
- 3.Pan/Tilt Setup : Pan/Tiltの設定を行います。(P31参照)
- 4.Display Setup : 画面表示設定を行います。(P33参照)

◆Camera Setup

カメラの基本設定になります。2ページありますのでカーソルを送り続ければページが移動します。



◆Camera Setup

1.DZoom Limit：デジタルズームの限界値が設定できます。

2.Day&Night：撮影モードを切り替えます。

- ・ Auto・・・暗くなると自動で赤外線暗視撮影モードに切り替わります。(映像は白黒になります)
カーソルを“Auto”に合わせて“MENU”ボタンを押すと詳細設定ができます。

●詳細設定画面

CDS DAY&NIG HT SETUP -----		
現在の周りの明るさが表示されます	CDS LUX View.	65.7 LUX
日中撮影に切り替わる明るさの設定ができます	Threshold Day:	10LUX
暗視撮影に切り替わる明るさの設定ができます	Threshold Nigh t	05LUX
日中撮影から暗視撮影に切り替わる時間が設定できます	D→N Delay:	03SEC
暗視撮影から日中撮影に切り替わる時間が設定できます	N→D Delay:	03SEC
設定を保存します	Save&Back Back	

- ・ Night・・・常時赤外線暗視撮影モードになります(映像は白黒になります)。

カーソルを“Night”に合わせて“MENU”ボタンを押すと詳細設定ができます。

●詳細設定画面

IR LED BRIGHTNESS -----		
LEDの照射強度の設定です。数値が大きいくほど強くなります	LED Value:	255
LEDの保護機能になります	LED Mode:	Off
色の同期信号を出力します	Burst Mode	On
	Save&Back Back	

- ・ Day・・・日中撮影モード。暗くなっても赤外線暗視撮影モードに切り替わりません。

◆Camera Setup

3. Brightness : 画面の明るさの設定です。数値が大きくなるほど明るくなります。
4. White Balance : 画面の色の設定です。初期値はATW/INに設定されています。
 - ・ ATW/IN・・・屋内設定
 - ・ ATW/OUT・・・屋外設定
 - ・ AWC・・・カメラの初期設定値になります。
 - ・ Manual・・・“Manual Red” “Manual Blue” で赤みと青みの調整が可能になります。
5. Sync : 選択されたビデオと同期します。“LL” モードに切り替えて画像の階調を調整します。
6. BLC : 逆行補正機能です。“Low” “Middle” “High” から選択できます。
7. Shutter : シャッタースピードの設定です。
 - ・ Auto・・・自動でシャッタースピードを調整します。
 - ・ Anti_FLK・・・画面がフリッカー（ちらつく）ときはこちらを選択してください。
 - ・ Manual・・・手動でシャッタースピードを調整できます。
8. Sense Up : 夜間や暗い環境下のとき自動で明るさのレベルを検出して画像のレベルを調整します。
9. AGC : 撮影場所に応じて映像信号の強弱を一定にし、見やすい映像に調整することができる機能です。
10. SSNR : ノイズを軽減する機能です。
11. Sharpness : 画像のシャープを調整します。
12. Focus set : 画像のフォーカスを調整します。
 - ・ Auto・・・自動でフォーカス調整をします。※手動でフォーカスの調整はできません。
 - ・ Manual・・・手動でフォーカスの調整をします。
 - ・ Z.Trigg・・・自動でフォーカスを調整します。さらに手動でフォーカスの調整ができます。
13. Reverse : カメラの設置状態に応じて、映像の方向を変更できます。
 - ・ Off・・・通常の吊った状態での使用時に選択します。
 - ・ H/V・・・カメラを置いた状態、レンズ部分が上を向いた状態での使用時に選択します。
 - ・ Vert・・・カメラを置いた状態で映像が左右反転します。
 - ・ Horiz・・・カメラを吊った状態で映像が左右反転します。
14. DIS Mode : 画像を安定させる機能です。
15. Back : 設定の保存を確認しますので、“Yes” “No” から選択してください。

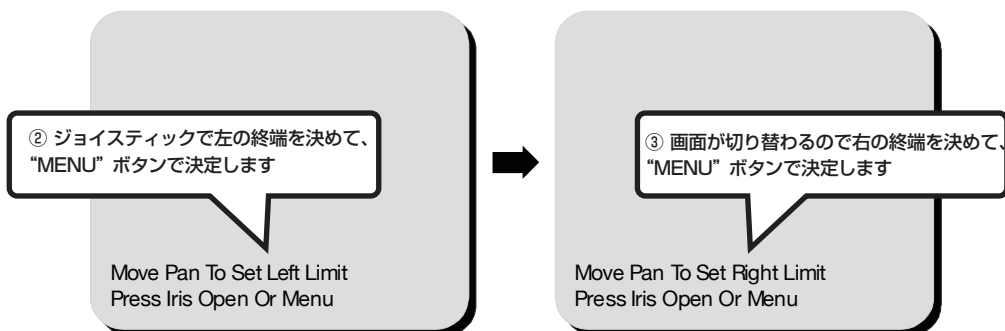
◆Pan/Tilt Setup

Pan/Tilt機能を環境に合わせて設定できます。

PAN/TILT SETUP -----		
1	Auto Flip:	Off
2	Prop.Pan:	On
3	Preset Freeze:	Off
4	Manual Stop Limit:	Off
	└ Limit Set	
5	Set Front	
6	Power On Act:	Off
7	Tilt Offset:	+05
	Back	
	Exit	

- 1.Auto Flip : Tiltでレンズが終端に着いたとき自動でレンズ部が反転します。
- 2.Prop.Pan : マニュアルでカメラを動かす時にPanとTiltのスピードをズーム機能にあわせて最適な動きにします。
- 3.Preset Freeze : この機能を“On”にするとマニュアルでカメラを動かした後に、任意のプリセットを実行したとき、実行したプリセットが完了するまで、最後に表示されている映像が保持されます。プリセットが完了した時点で、映像が切り替わります。
- 4.Manual Stop Limit : Panの左右の終端を固定できます。

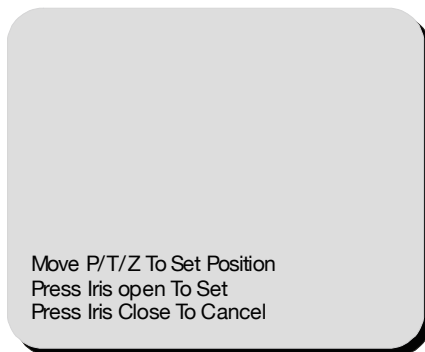
① “On”にして“Limit Set”にカーソルを移動して“MENU”ボタンを押します。



◆Pan/Tilt Setup

5.Set Front : カメラの方向の前側を記憶させます。

方向が決定したらIRISの“OPEN” ボタンか“MENU” ボタンで決定してください。
キャンセルするには“Close” ボタンを押してください。



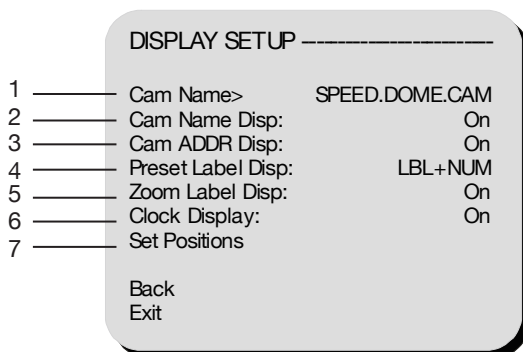
6.Power On Act : 電源を入れた時やリセット後のカメラの初期動作になります。

“OFF” にすると最後に合わせた方向とズームを再現します。その他“SEQ” “PTRN”
“autoscan” からも選択できます。※プリセットは使えません

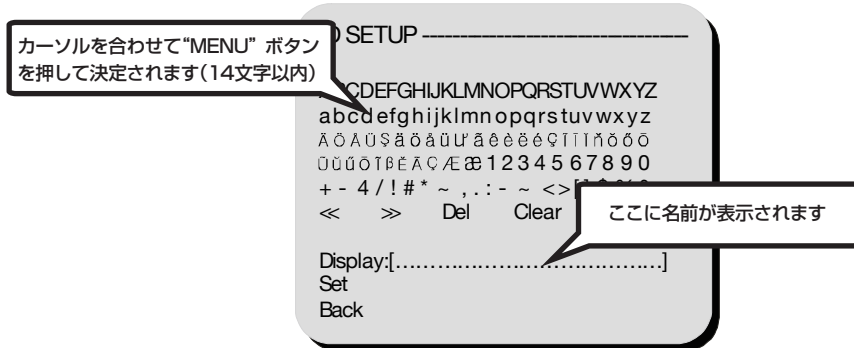
7.Tilt Offset : レンズの“Tilt” のゼロポジション（ホームポジション）を設定できます。

◆Display Setup

カメラの名前、時刻、位置情報などの表示設定ができます



1. Cam Name : カメラの名前を設定できます。初期設定は“SPEED.DOME.CAM”です
入力はカーソルを任意の文字に合わせて“MENU”ボタンで決定していきます。(14文字以内)
入力が終わったら“Set”にカーソルを合わせて“MENU”ボタンを押してください。



2. Cam Name Disp : “On” にすると設定したカメラ名が表示されます。
3. Cam ADDR Disp : “On” にするとカメラのアドレス番号が表示されます。
4. Prest Label Disp : “On” にするとカメラの設定したプリセット情報が表示されます。
・ LBL+NUM・・・プリセット名と番号が表示されます
・ LBL・・・プリセット名のみが表示されます
・ NUM・・・プリセット番号のみが表示されます
・ OFF・・・非表示
5. Zoom Label Disp : “On” にするとズームサイズが表示されます。
6. Clock Disp : “On” にすると日時が表示されます。

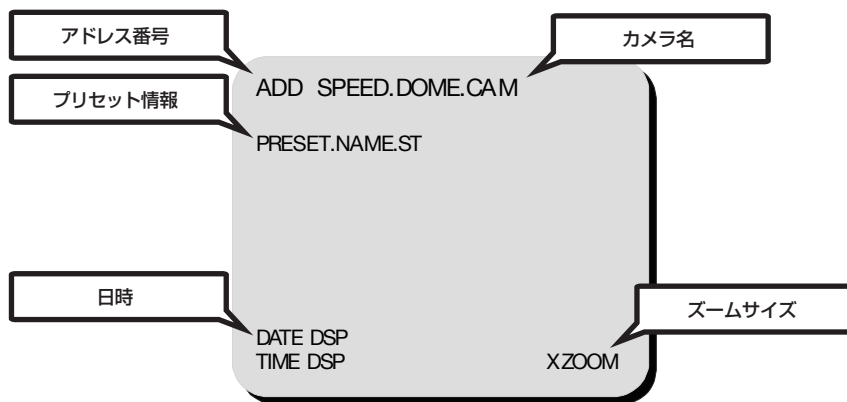
◆Display Setup

7.Set Positions : カメラ情報の表示される位置を編集できます。

設定方法

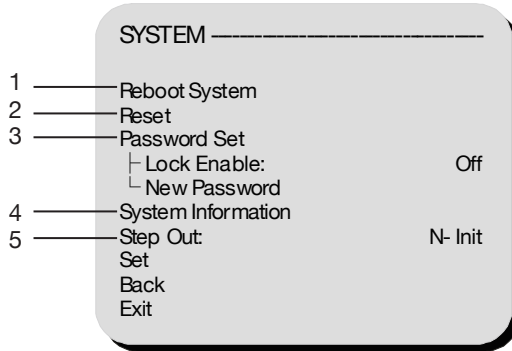
“Set Positions” にカーソルを合わせて、“MENU” ボタンを押します。

“Cam Name ⇒ Cam Addr ⇒ Preset Name ⇒ Zoom ⇒ Date ⇒ Time” の順番でジョイスティックを使用して任意の場所を決めます。各位置の決定は“MENU” ボタンを押します。



■System

システム設定を行います。各項目にカーソルを合わせて“MENU” ボタンを押して設定します。



1.Reboot System ; 本体をリセットします。設定情報は保存されたままです。

2.Reset ; 工場出荷時の状態に戻ります。設定情報はすべて消去されます。

3.Password Set ; パスワード管理で設定画面に入れる設定をします。

・Lock Enable・・・“On” でパスワード設定モードになります。

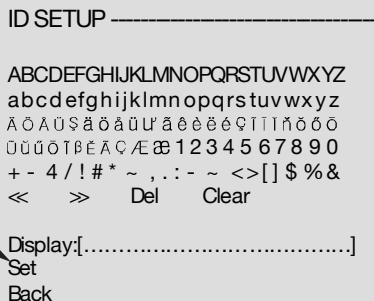
・New Password・・・パスワードを変更します。

※工場出荷時初期パスワード：1234

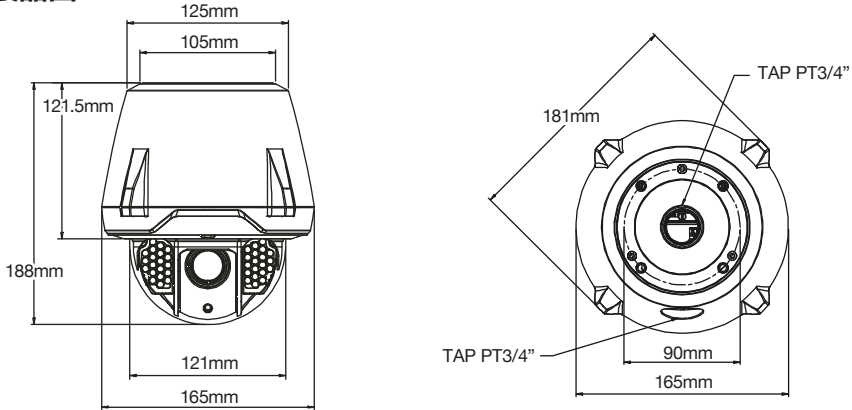
◆パスワード管理の設定方法

- ① “Lock Enable” を “On” にします。
- ② カーソルを “Set” に移動して “MENU” ボタンを押します。
- ③ パスワード入力画面が表示されますが、そのまま “Set” にカーソルを合わせて “MENU” ボタンを押します。
- ④ 通常画面に戻って “MENU” ボタンを押してパスワード設定になっているか確認します。

そのまま“Set” にカーソルを合わせて“MENU” ボタンを押してください



■製品図



■仕様書

レンズ	ズーム	光学12倍 / デジタル16倍
	レンズ	f= 3.94 ~ 46.05mm(F 167 ~ F 188)
イメージセンサー	CCD	1/4" COLOR SONY SUPER HAD CCD II
	解像度	カラー : 560 TV- Line, 白黒 : 680 TV- Line
	ピクセル数	768(H) X 494(V) 752(H) X 582(V)
映像	方式	NTSC / PAL
	ビデオ出力	1.0Vp- p(Sync. Negative), Termination 75Ω
	同期タイプ	Internal / External(Line- lock)
	最低照度	0.0001Lux(W/Sense up), 0 Lux(30m Range)- LED ON
	赤外線 LED	IR LED 40 PCS
	デイナイト機能	ICR(AUTO / COLOR / BW)
	逆光補正機能	OFF / BLC / HLC / SSSDR
	SENS-UP	OFF / ON(X2 ~ X512)
	SSNR(ノイズ補正)	OFF / LOW / MIDDLE / HIGH
	マスク機能	8カ所
Pan/Tilt	動作範囲	Pan : 360°(限界無) Tilt : - 5 ~ 185° (オートフリップ)
	スピード	プリセット: 最大250° / 秒, マニュアル: 最大0.05~120° / 秒
	プリセット	32プリセット(プロトコル PELCO D)
	パターン	4パターン(210秒~2時間 ※機能の組み合わせで変わります)
	オートスキャン	時計回り / 反時計回り / カスタム設定
	位置情報記憶	Pan位置情報自動記憶
	タイムスケジュール	8スケジュール
アラーム	アラーム入力	4ポート
	アラーム出力	Open Collector(DC 5V, 40mA) / Relay(2A DC, 30V / 0.5A AC, 125V)
	-	-
信号方式	アドレス(ID)	255
	リモートコントロール	RS- 485
	プロトコル	AUTO, SK- P, PELCO- D
	ボーレート	2,400bps, 4,800bps, 9,600bps, 19,200bps
使用電圧・容量		24V AC / 18W, 1.5A or 12V DC, 2A
動作可能温度		- 20℃ ~ 60℃
サイズ		165mm x 188mm
重量		2.0 Kg
ブラケット(別売)		PF-EA010(壁面取付用), PF-EA011(天井取付用)

故障かなとおもったら

原因	確認
電源を入れても動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ本体と電源ケーブルがしっかりつながっているか確認してください。 ・ACアダプターがコンセントにしっかりつながっているか確認してください。 ・保護ヒューズが入っているか、もしくは外れていないか確認してください。 ・保護ヒューズが切れていないか、指定外のヒューズを使用していないか確認してください。
画面に何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ本体とケーブルがしっかりつながっているか確認してください。 ・ドームカバーが汚れていないか確認してください。 ・フォーカスがずれていないかズームを再調整してください。
画面がちらつく	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラの正面に蛍光灯がないか確認してください。ある場合はカメラの位置を変えてください。
画像がぼける	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラのフォーカスを調整してみてください。 ・モニターの調整を確認してください。
画像が暗い 色が合わない	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターのコントラストを調整してみてください。 ・カメラの明るさを調整してみてください。 ・カメラのホワイトバランスを確認してください。
PTZ機能が 動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・接続ケーブルがしっかりつながっているか確認してください。 ・カメラとコントローラーのプロトコルが合っているか確認してください。
カメラが頻繁に リセットする	<ul style="list-style-type: none"> ・ACアダプターの容量を確認してください。DC12V / 2A
外部接続機器が 作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ・“NC” “NO” に機器がつながっているか確認してください。
時刻がずれる	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ本体裏の内蔵ボタン電池 (CR2032: 3V) を交換してみてください。

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本機が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ② 品名と品番
（IRスピードドームカメラ PF-CH804 など）
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

